



三陸復興国立公園再編成等推進事業費

平成28年度要求額
60百万円（新規）

背景・目的

- 平成23年3月発生した東日本大震災により、東北地方太平洋沿岸地域の自然公園においては、自然環境が大きく改変されるとともに、公園利用のための公園事業施設や公園事業者にも大きな被害を受けた。
- 被災地の復興のため、三陸復興国立公園を核としたグリーン復興プロジェクトを実施し、平成27年度現在までに、三陸復興国立公園の指定やみちのく潮風トレイルの一部開通(※)、震災の影響を受けた自然環境の変化状況の把握など一定程度の成果を出してきた。
- 平成28年度以降は、そのプロジェクトの中で特に重要で、地元の要望の高いみちのく潮風トレイルと自然環境モニタリングの取組を進める。
(※ここでの「開通」とは「路線設定」を言う。)

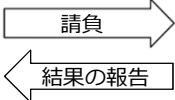
事業概要

- みちのく潮風トレイルの開通した区間において、トレイルイベントを開催することにより、開催地域の方々のみちのく潮風トレイルに対する認知度を向上させるとともに、利用者を誘客し、おもてなしを試行的に実施することなどを通じて、地域の自主的な取組を支援し、継続的に地域が活性化することに繋げる。
- 震災影響を受けた自然資源のうち、地元の関心が高い湿地、植生、干潟・藻場等の変化状況把握のための基礎調査及び継続的モニタリングを実施する。

事業スキーム

実施期間：5年間（平成28～32年度）

国
(施策の検討)



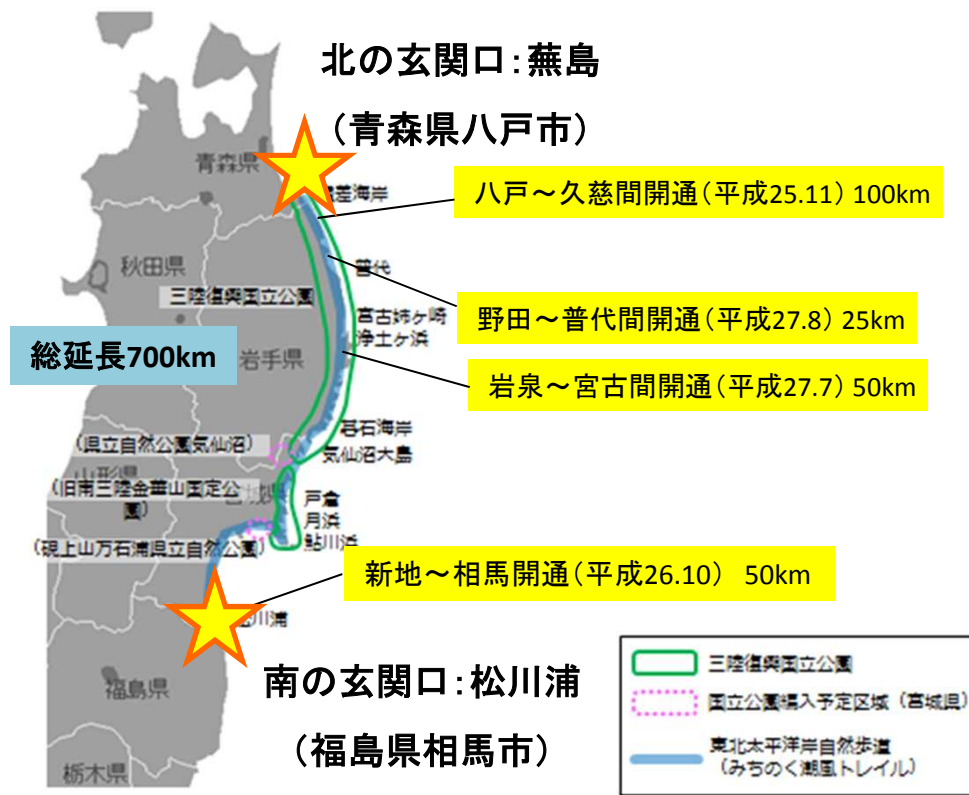
民間団体等
(みちのく潮風トレイル運営支援、
自然環境モニタリング等)

期待される効果

- 「みちのく潮風トレイル」という東北地方太平洋沿岸に新たな観光スタイルを構築し、交流人口を増加させることにより、被災地の復興及び継続的な地域の活性化が期待される。
- 震災後の重要な自然生態系の現状、震災影響を明らかにすることにより、自然資源を活用した震災復興事業や、各種復興事業における環境配慮への活用が期待される。

事業目的・概要等

- みちのく潮風トレイルの開通（路線設定）の状況
(平成27年8月現在)



イメージ

- (年次計画：みちのく潮風トレイル)
平成28年度：みちのく潮風トレイルの全路線の設定
平成28-30年度：イベント開催による地域活性化支援
平成31-32年度：地域の自立的なトレイル運営体制のフォローアップ

- (年次計画：自然環境モニタリング)
平成28～32年度：岩手県、宮城県の低頻度モニタリング
平成28～30年度：福島県の自然環境モニタリング
(平成31～32年度：福島県の低頻度モニタリング)